

登米地域の麦作技術情報 第1号

令和6年2月16日発行
Tel 0220-22-6127

登米農業改良普及センター
HP [https:// www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/](https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/)



←登米地域の農業
技術情報はこちら

1 調査ほ及び管内の生育概要

～茎数は目標の㎡当たり400本を超え、概ね順調な生育～

管内の麦は、天候にも恵まれて、順調に播種作業が行われました。出芽・初期生育も良好となりました。白鳥やガン類による食害や凍上害（霜柱による根の浮き上がり）が見られましたが、雪害の影響も少なく、生育は回復傾向となっています。

2月10日調査では、㎡当り茎数が400本を上回る生育量となっています。

表1 2月10日現在の生育状況

品種	町域	地区	播種日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)
あおばの恋	豊里	南前田	11/4	10.3	454
		(前年値)	11/8	8.8	236
		(平年値)	11/6	9.3	197
シラネコムギ	迫	新花島前	11/1	11.7	708
		(前年値)	11/7	9.8	237
		(平年値)	11/8	8.9	263

*平年値はR1～R5年の5か年平均

2 今後の管理について

(1) 排水対策

消雪直前に暗きょ栓を開放し消雪直後には、排水口の拡張、明きょ連結部分の点検など、排水対策を迅速かつ定期的の実施しましょう。

越冬により衰弱した麦に、融雪水の停滞と高温条件が重なると、湿害を助長します。湿害が生じた状態では、追肥の効果は見込めません。

(2) 麦踏み

年明け後（3月～茎立ち前まで）の踏圧は、1～2回行いましょう。霜柱によって麦の根が浮き上がり枯死しやすくなるので、越冬後にほ場が乾燥したら、直ちに踏圧を行いましょう。ただし、土壌水分が高い状態では車輪に麦が付着し、根が抜け枯死の原因となるので注意してください。

また、鳥害を受けたほ場では、株が引き抜かれて根が浮いており、その後の凍害や乾燥害を受けやすくなるので、早めに麦踏みを行ってください。

茎立期を過ぎてからの作業は伸びてきた茎を折ってしまうので、4月1日以降は控えてください。

(3) 追肥

“麦は金肥でとる”と言われるように、追肥が重要です。

目標とする2月上旬の茎数400本（条間25cmの場合、50cm間の茎数が50本）を下回る、又は鳥の食害が大きい場合は、根雪が溶け、ある程度ほ場が乾いたら茎数確保のため、株直し追肥を行いましょう。

また、一穂の粒数を増やし子実の充実を図るために、幼穂形成期とともに減数分裂期追肥を行いましょう。

表2 食用麦の追肥の目安

単位: N kg/10a

	目安時期	株直し追肥 (起生期)	幼穂形成期 (幼穂長2~3mm)	減数分裂期 (幼穂長20~30mm)	穂揃期 (8~9割出穂)
		茎数を増やす	穂数を増やす	一穂粒数を多くする	千粒重、蛋白含量を高める
小麦	生育状況	2月~3月上旬	3月下旬~4月上旬	4月下旬~5月上旬	5月上旬~中旬
	播種が早い(生育量多)	-	2.5	2.5~5	2.5~5
	播種が遅い(生育量少)	1~2	1.5~2		
大麦	時期	2月~3月上旬	3月中旬~4月上旬	4月中旬~4月下旬	-
	播種が早い(生育量多)	1~2	2~2.5	2~2.5	-
	播種が遅い(生育量少)	1	1.5~2	1.5~2	-

* 平成25年度麦・大豆研修会資料より抜粋・一部改変

* 大麦は、硬質粒の発生を防ぐため、穂揃期追肥は行わない。

【採種ほの追肥】

種子生産では、倒伏をさせないこと、子実の充実を図ることが合格種子へ繋がります。

追肥時期が遅く、量が多くなるほど成熟期が遅れるので注意してください。

ほ場ごとに茎数（幼穂形成期前の茎数が㎡当たり 500 本以上の場合は特に注意）や葉色を勘察し追肥量を判断してください。

幼穂形成期とそれ以降の追肥窒素合計量を 5kg/10a 以内としてください。

表3 種子用麦類の追肥の目安

	追肥時期		追肥量(窒素成分)
	融雪後~幼穂形成期	減数分裂期	
大麦	1月下旬~3月中旬	4月中旬から4月下旬	2~3kg/10a
			2kg/10a
小麦	1月下旬~3月下旬	4月下旬~5月上旬	2kg/10a
			2~3kg/10a
	5月上旬~5月中旬		1~2kg/10a

(4) 雑草防除

高温傾向のため、雑草の発生が目立つほ場が見られます。除草剤の種類によって、効果が高い雑草とほとんど効果のない雑草があるので、雑草の種類を確認した上で、除草剤の雑草茎葉散布を使用適期に行いましょう。

(注) 除草剤を使用する前に必ず登録内容を確認し、使用基準に従ってください。

<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <h2 style="margin: 0;">春の農作業安全確認運動</h2> <p style="margin: 0;">令和6年4月1日から6月30日まで</p> <p style="margin: 0;">◇◇◇徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策◇◇◇</p> </div>											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--